



ビジネスプランコンテストの様子

(特非)イカオ・アコ

# フィリピン西ネグロス州における有機農業による持続可能な開発のための教育(ESD)事業

一般助成  
3年目  
実践

高校卒業率 **100%**

有機農業の教育施設の整備

**3校**

活動の全体目標に対する達成度 **90%**

## 課題

対象地域は、サトウキビ畑で働く小作人たちの村で、そこには貧困による低学歴とそれによる低賃金労働という悪循環がある。

## 目標

教育の格差が大きいフィリピンにおいて、有機農業を通じたESD教育により地方の教育の底上げを行い教育のモデルを形成すること。また、本教育を受けた卒業生たちが、農業をベースに地元で産業を興すこと。

## 活動内容

①対象校の教員を対象としたESD研修を2回開催し、活動の成果を盛り込んだESD教育マニュアルを作成し、市内の学校に配布した。②地元発見学習として地元で活躍している農家や地元の産業を見学・体験した。また、ビジネスプランセミナーとビジネスプランコンテストを実施し、学生たちが卒業後に地元でビジネスを起こす計画を立てた。③質の高い有機農業の教育を行うため、実習設備の整備を行った。



大学に整備した試験農場

## 達成できなかったこと

3年目に活動の場所を移したため、3年目の学校の試験農場の野菜の販売による収益を算出することができなかった。しかし、農場の運営は継続して行われている。

## 今後の展望

対象校で生産した有機野菜をビクトリアス市内に設置したイカオ・アコが運営するカフェが買い取っていく。

## 成果と工夫したポイント



### 成果

高校生・大学生の有機農業への知識が深まり、地元で稼げるビジネスとして有機農業があるという認識が広まった。モデル産業として、イカオ・アコが市内にオーガニックカフェを設置し、有機農産物の調理販売を始めた。

### 工夫

学校だけでなく、地元の農家・事業者と連携し、地域ぐるみでESD教育を行った。